

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和5年6月30日(金) 午後2時開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	富井 弘 砂田 一 安藤龍嗣 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 長澤健次 西村めぐみ 齋藤勝久 村野裕子 吉野 勝 幸森康夫 田辺曉己 中田一平教育長
欠席委員(者)氏名	小関京子 白木賢信
説明者の職氏名	片寄社会教育課副主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) ○委嘱状交付式 1 開 式 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 社会教育委員自己紹介 5 事務局自己紹介 6 閉 式  ○第1回社会教育委員会議 1 開会 2 社会教育委員会議の運営について 3 正・副議長の選出について 4 協議事項 (1) 各種協議会等委員の選出について (2) 社会教育関係団体補助金について (3) 地区センター移行後の公民館の役割について 5 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当各課からの報告 6 その他 ・次回の会議日程について 7 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、佐藤教育部次長、浅川社会教育課長、 澤田博物館長、平岡図書館長、 奥村社会教育課主幹、片寄社会教育課副主幹、長谷川社会教育課主任、 大久保社会教育指導員、浅見社会教育指導員

## 会議録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

- 1 教育長より、社会教育委員委嘱状を委員へ交付した。  
※ 事務局紹介後、所用により中田教育長 退席
- 2 協議事項
  - (1) 各種協議会等委員の選出について 事務局 片寄副主幹より説明
  - (2) 社会教育関係団体補助金について 事務局 片寄副主幹より説明
  - (3) 地区センター移行後の公民館の役割について 事務局 片寄副主幹より説明
- 3 報告事項
  - (1) 各委員からの活動報告
  - (2) 教育部社会教育担当課からの報告
    - ①社会教育課 浅川社会教育課長
      - (i) 報告事項(なし)
      - (ii) 配付資料
        - ・令和5年度 入間市の教育
        - ・令和4年度 埼玉县市町村社会教育委員連絡協議会研修集録
        - ・入間地区社会教育広報「さわらび」 第55号
        - ・社教連会報 No.92
        - ・社教情報 No.88
        - ・令和4年度 入間市人権教育実践報告書
        - ・広報人権教育 第24号
        - ・キッズ・アート・ギャラリー
        - ・入間書人展
        - ・美術展
        - ・写真美術展
    - ②博物館 澤田博物館長
      - (i) 報告事項
        - ・入間市博物館について
        - ・西洋館及び旧黒須銀行について
      - (ii) 配付資料
        - ・ALIT お茶大学のしおり
        - ・「NEWS-ALIT」第108号、第109号
        - ・紀要 第15号
    - ③図書館 平岡図書館長
      - (i) 報告事項(なし)
      - (ii) 配付資料
        - ・図書館だより4月号
- 4 その他
  - ・次回会議の日程について第2回 令和5年9月28日(木) 午後2時00分より  
市庁舎503会議室
- 5 閉会

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
齋 木 議 長 片 寄 副 主 幹	協議事項(1) 各種協議会等委員の選出について、事務局より説明を願う。 資料に沿って説明
齋 木 議 長 浅 川 課 長	事務局より説明があったが何か意見はあるか。なければ、事務局に案はあるか。 入間地区社会教育協議会理事については委員番号 6 番の根岸桜委員、入間市社会福祉協議会評議員については委員番号 4 番の佐藤清美委員、入間市青少年問題協議会委員については委員番号 11 番の吉野勝委員にお願いしたいと考える。
齋 木 議 長	事務局案が示されたがどうか。よければ拍手を願う。拍手多数により決定する。 続いて、協議事項 ( 2 ) 社会教育関係団体補助金について、事務局より説明を願う。
片 寄 副 主 幹	資料に沿って説明
齋 木 議 長	事務局より説明があったが何か質問はあるか。
幸 森 委 員	団体により補助金に差があるが。
浅 川 課 長	事業内容により差がある。文化協会は所属団体が約 2 0 あり多くなっている。ドラマフェスタは年々見直しをしている。補助金は申請に基づいて適正かどうか判断しており、微妙な差が生じるのは致し方ないことと考える。
吉 野 委 員	申請は全額出ているのか、それとも何割とかあるのか。
浅 川 課 長	計算の間違いとかなければ、申請額で出している。
齋 木 議 長	他にあるか。では、続いて協議事項 ( 3 ) 地区センター移行後の公民館の役割について、事務局より説明を願う。
片 寄 副 主 幹	資料に沿って説明。
齋 木 議 長	事務局より説明があったが何か質問はあるか。
幸 森 委 員	公民館という名称は残るのか。
片 寄 副 主 幹	設置条例のとおり、公民館として残っている。
幸 森 委 員	言葉ではそうだろうが、館の名称として公民館がなくなるのかどうか。
浅 川 課 長	地区センター、公民館が併設、一緒に存在する状態である。
幸 森 委 員	イルミンの市民活動センターと男女共同参画センターのように、地区センター、公民館があるということか。
浅 川 課 長	そうである。
佐 藤 委 員	第 2 回以降に協議するとのことだが、何が変わったかぴんときない。私達社会教育委員の立場として、施設に行ってみせていただくことは可能か。
浅 川 課 長	確かに書面だけではわからないという方もあるかと思う。例えば、現地での会議の開催等も検討したい。
幸 森 委 員	公民館としては市民レベルでは変わらない。それに支所機能、福祉総合相談窓口等がくっついて便利になったという理解でよろしいか。
浅 川 課 長	確かに 6 つの機能をもって地区センターとなっている。このねらいは地域の課題、自治会、環境、福祉等の問題がたくさんある中で、地区センターとして総合的に事務をすることで解決していこうとするねらいがある。公民館という中核的な施設に事務を増やして地域の課題を解決していきたいというのが地区センター化のねらいである。
西 村 副 議 長	建物は同じで名称が変わったという印象だが、建物を順番に建て替えていくとい

発言者	発言内容
浅川 課長	<p>う政策だったと思う。まず名称を変更してだんだんと建物を作って完成させていくということだと思うが、そうでないと名前だけという印象になる。</p> <p>施設の更新という面では、すぐにはできない。だからと言って内容をそのままにしておくという事はできない。将来に対応できるよう中身を変えていくことが必要である。</p>
長澤 委員	<p>施設の中で情報共有はできるのか。</p>
浅川 課長	<p>情報の共有はされているが、もしそうでないことがあれば改善していく。福祉に関して包括支援センターは、ある意味別組織ということもあるので、連携していくが全てが一致していくということはないかもしれない。</p>
村野 委員	<p>これまでも公民館にも、公民館機能、自治振興支援機能、防災拠点機能があったと思うが、話し合うのは公民館機能のところだけか。</p>
浅川 課長	<p>今までやっていた部分もあるが、担当として一緒にのセクションとして仕事をする事はなかった。幅広い観点から業務をすることになる。公民館としてそれらをしていくので、防災機能を除いて話し合うということではない。</p>
齋木 議長	<p>様々な機能があるとのことだが、専門的な知識を持った人材は配置される予定はあるか。</p>
浅川 課長	<p>現状では専門的な人は限られており、今の時点では難しい。それを補う意味で社会教育課が主となって、公民館、地区センター職員を指導支援していく。将来的には、そういったことが必要になるかと考えている。</p>
齋藤 委員	<p>これまでは公民館は教育委員会の管轄だったが、今後はどうなるのか。</p>
浅川 課長	<p>施設、館としては教育委員会の管理ではなくなり、地域振興課になる。公民館の仕事や事業は残っており、それは社会教育課で予算も含めてやっていく。職員は併任してやっていく。</p>
齋藤 委員	<p>まちづくり担当は地域振興課か。どこに相談したらよいか。</p>
浅川 課長	<p>いろいろな相談事はまず地域づくり担当に相談願いたい。</p>
幸森 委員	<p>基本計画にある施策の展開以外の活動について協議するということか。また、課題が書かれているが対応策はどうなっているのか。</p>
浅川 課長	<p>地区センター化は、現実には動いて2か月であり、計画になかったこともあるだろうし、計画しても変わっていくこともある。それを踏まえて、さらによくなるように皆さんで議論していただきたい。それに関わるデータも次回までに早めにご提供したい。また、対応策について現実的には難しいこともあり、計画でも具体的には提示できていない。そこも含め議論をお願いしたい。</p>
齋木 議長	<p>では報告事項（1）各委員からの活動報告を願う。</p>
村野 委員	<p>こども食堂ネットワークで今年度カラーのチラシを作った。25団体が参加し、学習支援、子どもの居場所、子ども食堂などをやっている。小中学校全員に配布していただきお礼申し上げます。保護者やボランティア志望の方から問い合わせがあり効果を感じた。長期休みに食事を配る活動を3月に止めた。理由は困難な家庭を支援したかったが、どんどん大人が増え、基準を設けるのも難しかったからである。また、KUROKO プロジェクトというものを始めた。自分たちは見えない黒子のような存在ということ。学校や居場所にレトルト食品をおいてもらい、子どもたちが信頼できる大人にお腹がすいたよといったときに貰えるような仕組みを模索して</p>

発言者	発言内容
吉野委員	<p>いる。学校には何校かお願いして、置いていただいている学校もある。その場で保護者に確認して食べさせたり、持ち帰らせたり学校により対応してもらっている。子ども自身が声をあげられる環境ができたらいいと思っている。</p> <p>児童センターにボランティア会があり、天文クラブ、無線クラブ、科学クラブ、銀河鉄道358、母親クラブ、ありんこクラブ、お話しだいすきというのがある。天文クラブは毎月1回天体観望会、無線クラブは無線教室や子供の指導、科学クラブは教育センターの理科室で学校ではできないような体験、母親クラブはシャボン玉で遊ぼうなどしている。ボランティア会はいつでも参加歓迎である。</p>
齋藤委員	<p>元気が出るふじさわ未来ネットは5年目になる。活動体は10あり、それをネットワーク化している。子どもからお年寄りまでの活動で、今年度は中学生の活動を始めた。4月に市長にも参加してもらいスタートアップ講演会をしてスタートしている。中学生がやってみたいことに対して地域の大人が支援する。市もSDGsに取り組んでいる所から環境問題についての活動で、月1回定例会を開いている。また、地域に遊休地が多いので、それを活用して畑仕事に取り組んでいる。</p>
西村副議長	<p>読み聞かせについて、3月に声をかけ、5月から始めた。ほぼ同じメンバーで始められた。子どもたちが案内してくれた。先生方も大変だと思うので、よく聞いてくれたとか話をしている。</p>
齋木議長	<p>続いて、報告事項(2)教育部社会教育担当各課から報告を願う。</p>
浅川課長	<p>資料が多いので、ご確認願う。</p>
澤田館長	<p>新しい委員もおられるので簡単に博物館の案内をしたい。地域とお茶をテーマとした博物館として平成6年に開館した。地域では、小学校3年生、6年生が毎年地域学習をし、中学1年生はお茶の体験をしている。そして、昨年度常設展示室のリニューアルを行った。詳しくは紀要をご覧いただきたい。管理について指定管理者の制度を活用して、今年度から第2期目がスタートした。目標としては来館者8万人を目指している。すでに233万人ほど来館しており今年度中に240万人を達成予定である。その他に西洋館を管理している。ぜひ訪問を。旧黒須銀行も博物館が管理していて、この秋から改修工事に入る。</p>
平岡館長	<p>図書館だより4月号を配付した。ご覧いただきたい。くらしに役立ち学びを支える身近な図書館を目指して、市民に多くの本に親しんでもらえるよう取り組んでいる。</p>
齋木議長	<p>他にあるか。</p>
富井委員	<p>1学期が間もなく終わる。子どもたちが地域家庭に戻るので安全面等よろしくお願ひする。</p>
砂田委員	<p>中学校も修学旅行が市内8校が終わった。市内大会があつて県大会に行く種目がある。2学期は、体育祭が暑さを避けて10月14日に行う。</p>
安藤委員	<p>9月に文化祭がある。</p>
齋木議長	<p>ご協力に感謝する。これをもって協議・報告を終了する。</p>

以下、余白

発言者	発言内容
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和5年 7月 20日</p> <p>議長 の 署名 齋 木 茂</p>	